

在宅継続を望む終末期がん患者の悪性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法の有効性
～短期入院で KM-CART を実施して～

1. 研究の目的・意義

悪性腹水は、強い腹部膨満感や嘔気、呼吸苦、摂食障害などを生じて患者様の日常生活を著しく低下させるために、在宅療養が困難になる方も少なくありません。当院では、悪性腹水のある緩和ケア対象患者様に対して、改良型腹水濾過再静注療法(KM-CART)を行っています。その効果について、診療録・看護記録からデータ収集・分析し、その有効性について明らかにします。

2. 対象

2018年12月1日から2024年9月1日までに緩和ケアチームが介入している KM-CART を行った患者様を対象とします。

3. 研究の方法・対象

- ・患者様の基本的情報(年齢、性別、疾患など)
- ・KM-CART 実施前後の腹水・濾過の成分分析比較
- ・実施前後の身体症状(全身倦怠感、腹部膨満感、腹痛、嘔気、呼吸苦、食思不振、歩行障害)及び精神症状(抑うつ、不眠、絶望感)
- ・Barthel Index (食事、車いすからのベッドへの移動、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、着替え、排便コントロール、排尿コントロール)の結果比較
- ・実施後の在宅退院者の割合を抽出します。

4. 研究における同意の自由・同意撤回の自由について

この研究への同意はあなたの自由であり、たとえ同意を撤回した場合でも、あなたに不利益が生じることはありません。また、本研究への参加・協力をしていただいた場合でも、途中でやめたいと思われた場合はいつでもやめることができます。

5. 研究に協力することで、あなたが受ける不利益

この研究にご参加頂くことで受ける不利益はありません。

6. 個人情報の保護

本研究に関する情報は、学会発表などで公に発表されることがあります。その際には個人が特定されないよう慎重に配慮し、個人に関する情報が外部に公表されないようにします。また、情報に関しては研究目的以外に使用しないことを約束します。なお、研究協力を辞退される方は2024/12/24までにお申し出ください。

7. 情報の保管及び破棄の方法

研究にて得られた情報は千葉県立佐原病院にて保管されます。研究が終了した後は、個人情報特定されないようにシュレッダーにかけて破棄または削除します。

8. この研究は千葉県立佐原病院倫理委員会の承認を得て実施しています。

9. 問い合わせ窓口

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。まずは月曜日から金曜日の9:00~16:00の間にお電話にてお問い合わせください。

研 究 者：千葉県立佐原病院	看護師	駒村 光尉
研究代表者：千葉県立佐原病院	がん性疼痛認定看護師	田上 千佳子
住 所：287-0003 千葉県香取市佐原イ 2285		
電 話：0478-54-1231 (内線 751)		